

2020年5月28日

日本銀行大阪支店

関西金融経済動向

【全体感】

関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、悪化している。

輸出は、減少している。設備投資は、増勢が鈍化している。個人消費は、大幅に減少している。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。公共投資は、増加している。こうした中で、生産は、減少している。雇用・所得環境をみると、弱めの動きがみられている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症が、当地の経済金融情勢に与える影響などを注視していく必要がある。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、増加している。

輸出は、減少している。

設備投資は、増勢が鈍化している。

個人消費は、大幅に減少している。

スーパー等販売額、家電販売額は、減少している。乗用車販売は、大幅に減少している。百貨店販売額、旅行取扱額、外食売上高は、大幅に減少しており、足もとでは減少幅が拡大している。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

2. 生産

生産（鉱工業生産）は、減少している。

内訳をみると、鉄鋼・非鉄金属や自動車関連等が減少している。

3. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、弱めの動きがみられている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%程度となっている。

5. 企業倒産

企業倒産は、総じて低水準で推移しているが、足もとでは新型コロナウイルス感染症の影響が一部にみられている。

6. 金融情勢

預金残高は、個人預金や法人預金の増加を背景に、前年比1%台後半のプラスとなっている。

貸出残高は、企業向けや住宅ローンの増加などを背景に、前年比2%台半ばのプラスとなっている。

預金金利は、低水準で推移している。

貸出金利は、低下している。

以 上